

令和5年度 第3回中野市健康づくり協議会 会議経過書

日 時	令和6年1月18日（木）14：03～16：00
会 場	中野市役所 会議室42・43
出席者	<p>【委員】 高野次郎会長、三澤一道委員、高橋智子委員、金山正太委員、東本雅之委員、山田隼一委員、丸山扶美委員、小林みどり委員、山口光雄委員、吉見和彦委員、町田正晴委員</p> <p>【事務局】 （健康づくり課） 高山健康福祉部長、田中健康づくり課長、池田健康づくり課長補佐、岩井健康づくり課長補佐、小林保健医療推進係長、上田副主幹、小野副主幹、有賀主査、佐野主事 （高齢者支援課） 児玉介護予防包括支援係長、石澤主事</p>
欠席者	鶴田恵子副会長、洞久美子委員、小林照里委員、小林豊委員
次 第	1 開会 2 あいさつ 3 協議事項 (1) 2023健康づくりフェスティバルについて 今年度の実施結果について (2) 次期「中野市健康づくり計画及び中野市食育推進計画」の素案について (3) その他 4 その他 5 閉会
資 料	1 2023健康づくりフェスティバルアンケート結果 2 中野市健康づくり計画及び中野市食育推進計画 素案

1 開 会 田中健康づくり課長（以後、進行）

2 あいさつ 高野会長、高山健康福祉部長

3 協議事項

- (1) 2023健康づくりフェスティバルについて
今年度の実施結果について

（説明者：小林保健医療推進係長）資料1に基づき説明

今年度の健康づくりフェスティバルは10月14日に開催した。来場者数は168名、アンケート用紙の提出は63枚であった。昨年度の来場者数は122名であり、増加している。

アンケートでは、健康コーナー、講演会ともに肯定的な感想を多くいただいた。今後の開催の際の要望についても資料のとおり回答をいただいている。

○ 高野会長

ただいまの説明について、意見や質問はあるか。

→意見等なし

このアンケート結果を生かし、来年度の開催につなげていただきたい。

(2) 次期「中野市健康づくり計画及び中野市食育推進計画」の素案について

(説明者：小林保健医療推進係長)

現在、資料の文言や語句等の細かな修正作業が遅れていることをご容赦いただき、本日は全体の方向性や取組内容、指標等についてご協議願いたい。

現行の「中野市健康づくり計画（第2次）」及び「中野市食育推進計画（第3次）」が令和5年度末をもって満了となることに伴い、「中野市健康づくり計画（第3次）及び中野市食育推進計画（第4次）」を策定する。

「中野市健康づくり計画（第2次）」の最終評価では、80項目中35項目が悪化を示すD評価となっており、これらの項目を改善していく必要がある。

計画の全体目標は「健康寿命の延伸、健康格差の縮小」とし、基本理念を「支え合いいきいきと健康に暮らせる健康長寿のまちなかの」とした。市の総合計画での基本政策である「支え合い健やかに暮らせる健康長寿のまち」を、より具体的な表現に変えさせていただいた。

資料P26の計画の体系図について、各数字は「計画の基本方針」、「目標と施策の推進」での数字とリンクしている。詳細な目標、取組内容等については資料のとおり。

(説明者：有賀主査)

「中野市食育推進計画」について、食育は健康づくりと切り離せないことから、「中野市健康づくり計画」と一本化して策定していくこととした。計画の趣旨としては、社会情勢等の変化を背景とした複雑多様化する問題に対応するため、新たな視点を踏まえて食育活動を担う様々な関係者の連携のもと、組織的に食育を推進する計画となっている。

基本理念は「みんなで食育（持続可能な食の輪を広げよう）～食でつながる豊かなまちなかの～」とした。現行計画の基本理念を引き継ぎ、国・県の計画でキーワードとなっている「持続可能な食」という言葉を入れさせていただいた。詳細な目標、取組内容等については資料のとおり。

○ 東本委員

この計画は市民に全戸配布をするのか。

○ 小林保健医療推進係長

全戸配布は考えていない。ホームページでの周知のほか、今後市で発信する各種挨拶等の中で発信していきたいと考えている。

○ 東本委員

P26の計画の体系図について、今回は口頭での説明があったので分かりやすかった。図の番号と各方針等とが対応していることについて明記すれば、さらに見やすくなるのではないかと。

○ 小林保健医療推進係長

体系図は計画の中でも重要になるので、今後精査していきたい。今回の資料では白黒印刷だが、最終的にはカラー印刷となることでも見やすくなるのではないかと考えている。

○ 丸山委員

計画としては数値を出さないといけないと思うが、目標値に捉われずに施策を工夫してほしい。特に「フレイル」について、高齢者に伝える機会を増やしてほしい。自分の周囲にも加齢に伴い日常生活に影響が出ている人がいるが、体の各部分の症状だと思い込んでおり、フレイルの認識が薄いことが多い。高齢者の多くが認識していないとまずいのではないかとと思う

○ 児玉介護予防包括支援係長

フレイルに伴って介助が必要になる方も多くいる。高齢者支援課と健康づくり課で合わせて、あらゆる機会を捉えてフレイルの普及啓発に努めていきたい。

○ 田中健康づくり課長

資料P3の計画の位置づけでも示しているが、本計画は現在策定中の中野市老人福祉計画・介護保険事業計画とも関連している。こちらの計画にもフレイルを盛り込み、合わせて事業を進めていきたい。

○ 町田委員

計画とは異なる内容になるが、シニアクラブでは若い人の加入がない現状がある。シニアクラブは会費と区からの援助で運営しているが、市からもさらにご支援をいただければありがたい。

○ 児玉介護予防包括支援係長

シニアクラブへの補助金については今後検討していきたい。

○ 丸山委員

減塩について、これまでとは違う方面からの施策を考えてほしいと感じる。これまでも減塩運動を進めてきた中で、減塩という言葉の認知度は高くなっているが、実践に結びついていないのではないかと。

○ 田中健康づくり課長

これまで減塩に関する事業を進めてきた成果として、資料P18に示すように尿中塩分排泄料検査値の低下がみられており、保健指導員会での活動等、今後も事業を続

けることでさらなる数値の低下が期待できるのではと考えている。地道な活動ではあるが、今後も減塩や高血圧についての周知啓発にご協力いただきたい。

○ 丸山委員

減塩運動の成果や他の疾病との関連は、資料のどこから読み取ることができるのか。

○ 高野会長

先ほど田中課長が申し上げたとおり、資料P18に尿中塩分排泄料検査の結果値がある。ただ他の疾病との関連については、データで示すことが難しいため資料には入っていない。

○ 田中健康づくり課長

また資料P16の高血圧者・正常高値血圧者の割合からも、目標値には達していないものの平成23年から高血圧者が減少していることが読み取れる。減塩の周知啓発には一定の効果があったと考えている。

(3) その他

今後の計画策定スケジュールについて

(説明者：小林保健医療推進係長)

語句や体裁を整えた後、2月にパブリックコメントを実施し、3月末の策定を予定している。パブリックコメントの結果については意見の有無に関わらず、委員の皆様へ書面で通知させていただく。パブリックコメントを受けて計画に大きな変更がある場合は文書で賛否を募らせていただくが、細かな修正に関しては会長と事務局に一任するという進めさせていただきたい。

○ 高野会長

パブリックコメント後から策定まで、会長に一任するというのでよいか。

→異議なし

会長と事務局で協議して進めていくこととする。

4 その他

5 閉 会